

定住自立圏の将来像は

伝統工芸品「南部裂織」のように



野月 一博
(高志会)

議員 十市町村による「上十三・十和田湖広域定住自立圏」が形成されたが、その将来像について市長の考えは。

市長 この圏域は二市七町一村と広大で、それぞれの事情も異なっています。古い布を裂き、多種多様な新しい布地を織る伝統工芸品南部裂織のよう

に、圏域市町村がお互いの特色を認め、尊重しながら一つの形に紡いでいきたいと考えています。

議員 共生ビジョン策定に向けた取り組み状況は。

企画財政部長 主管課長から成る連絡調整会議及び事業担当課を中心とするワーキンググループを開催し、共生ビジョンの素案作成に向けた事務レベルの協議をしています。素案作成後は関連する分野の民間代表者等から成る懇談会を開催し、圏域市町村との協議を経て、今年度中をめどに策定することとしています。

議員 中心市としてリーダーシップを発揮するための方策は。

企画財政部長 新年度から定住自立圏推進係を設置するとともに、共同中心市の三沢市とこれまで以上に連携、協力していきます。

議員 「花と温泉とアー

ト」とする、焼山地区活性化の体制づくりは。

観光商工部長 地元住民の皆様、事業者、専門家と協議しながら活性化計画の策定を進めていきたいと考えています。



雪景色が旅情をかきたてる焼山

議員 新年度予算編成のポイントは。

市長 事務事業の選択と集中による基金に頼らない財政運営を基本に据えつつ、基金残高が一定程度確保できる間は、十和田市の元気につながる着実な取り組みや、将来負担の軽減につながる効果的な取り組みに重点を置き予算編成をしたいと考えています。



竹島 勝昭
(市政・社民クラブ)

八甲田山水系の水源確保を

調査を進めていきたい

議員 異常気象などによる水資源への影響を懸念している。このため、将来にわたっての安全、安心を確保するために、積雪も多く膨大な地下水脈があると言われている八甲田山水系の地下水調査を実施し、新たな水源を確保しておくべきではないか。

市長 八甲田山水系の地下水調査も含め、水源を確保するための調査を進めていきたいと考えています。

水資源を守っていききたいと考えています。

議員 国の特別名勝十和田湖・奥入瀬溪流は、観光が優先で保護が置き去りにされ、自然の生態系が破壊されている。国立公園を含めた自然環境の保全を市全体の問題として捉えるため、平成二十五年度の組織改革において、(仮称)十和田湖・奥入瀬溪流保全課を新設する考えはないか。

総務部長 現状では、(仮称)十和田湖・奥入瀬溪流保全課の新設は難しいものとして認識していますが、庁内関係課との連携と情報交換を強化し、十和田湖・奥入瀬溪流の環境保全に努めていきたいと考えています。

議員 水源確保のための、外国人投資家による森林買収に対する規制も必要ではないか。

農林部長 現在のところ、当市においては外国人による森林売買は確認されていません。今後関係団体からの情報収集による監視強化などにより、市の

議員 中央公民館が廃



いつまでも美しい奥入瀬を

止されると公民館配置のバランスが崩れるため、市内北西部に(仮称)北公民館を整備する考えはないか。

教育部長 新たな公民館の設置は生涯学習振興の観点から有意義なものとして認識していますが、(仮称)生涯学習センターの利用動向など、さまざまな条件を踏まえた中で検討していく必要があると考えています。